



Special Interview
人の想いが育てる
まちの景観

素晴らしい景観は一朝一夕で作られるものではなく、建物の色や形、そこで暮らす人々の活動や紡いできた歴史などさまざまな要素が加わり、長い歳月をかけて形成されていきます。これらの要素や一人一人の活動は小さな点なのかもしれませんが、その点と点が重なり合うことでまちが整い、住む人たちにとって居心地の良い場所に変化します。子どもの頃に触れた記憶に残る街並みは市民の誇りとなり、大人になっても決して忘れることはありません。きっかけは小さなことでも、誰もが関わることのできる「余白」を作ってあげること、コミュニケーションを通して地域と触れ合うことの楽しさを生み出すことが

き、人と人との交流が増えるのだと思います。地域の絆がまち全体に広がっていくと、良いものを未来に残したい、活用したい、魅せたいといった意識が芽生えるのです。景観を維持していく上で、良い物を残していくという気持ちもとても大切です。一方で、歴史ある良い景観の魅せ方や活用方法も考えていかなければいけません。古い建物を壊して新しい建物を作るだけではなく、まち全体で今ある景観を次の世代につなげていく意識を持ち、継続して景観を作っていくことが重要です。その積み重ねがやがて花開き、まち全体に素晴らしい景観を生み出すことので

古河市景観審議会委員
つ き
大山早嗣

プロフィール

(株)大山都市建築設計 代表取締役、一級建築士、茨城県都市計画協会まちづくりアドバイザー、(一社)茨城県建築士事務所協会理事

景観への想いを 次・世・代 へつなぐ人たち



恩名下坪保全会

小さな子どもから高齢者まで、約30人のメンバーで地域の美しい田園風景を後世につなげる活動を行っている恩名下坪保全会。遊休農地を利用した花壇には四季折々の花々が植えられ、通行人の目を楽しませています。地域の人たちにとっても、コミュニケーションをとる憩いの場となっています。

(一社)茨城県古民家再生協会

古民家の調査や再生等を行い、その土地の風土や景観を大切に、地域に残る日本の伝統建築を次の世代につなぐ活動をしている古民家再生協会。154年の歴史ある山川邸の補修を行い、さまざまなイベントを実施しながら活用しています。これからも地域の皆さんと協力して歴史ある古民家を大切に管理していきます。



大橋醤油店 諸味蔵

江戸時代末期からおおよそ170年以上使用している諸味蔵と木おけを使い、醤油を製造している大橋醤油店。先祖代々受け継がれてきた酵母菌で昔ながらの醤油造りを続けています。明治維新や関東大震災を乗り越え、大切に守られてきた蔵と酵母菌で、これからもおいしい醤油を皆さんに届けていきます。

古河第一小学校 赤門

明治37年の建築以来、今日まで多くの子どもたちが通ってきた赤門。歴史ある赤門を次世代につなげてほしいという地域の人たちの思いから、学区内34自治会・住民からの寄付等を受け、従来の形を維持したまま耐震補強工事を行いました。これからも一小に通う児童たちを見守り続けます。

